



ハイスクール 通信



Vol.29



群馬県立渋川工業高等学校

アイスホッケー部

連携のとれたチームで
目指すインターハイ



選手8人とマネージャー1人の計9人で活動しています。少人数な分まとまりがあり、連携のとれたチームです。インターハイ出場を目標に、県のインターハイ予選では、自分たちのペースで試合が進められるように、積極的なゲームメイクで勝ちきりたいです。キャプテン:永田 農能さん(3年・写真左)、部長:黒澤 民愛さん(3年・写真右)

美術部

今年の総合文化祭で2人が
優良賞を受賞しました



美術部 部長
高橋 花香さん
(3年)

総合文化祭に向けた制作のほか、読書感想画や文化祭のポスター、チラシ類のデザインに応募するなど、7人の部員みんなで、さまざまな作品に取り組んでいます。画力を高めるためにデッサン会を行い、技術や見せ方が身に付いてきたと思います。

今後の目標として、総合文化祭で上位10校に与えられる優良学校賞の受賞を目指しています。

— NPO・ボランティア団体の活動 —

われら しぶかわ サポーターズ

No.19

「北橋地区竹の里づくり 協議会」



散策道や階段、あずまやが整備された竹林公園

北橋地区竹の里づくり協議会は、北橋町八崎地内の竹林公園を整備し、春と秋のイベント開催を通じて地域づくりを行う団体です。①竹文化の創造、②竹林の環境保全、③タケノコの収穫などによる経済活性化の3つを目的に、32人の会員で活動しています。公園整備を始めた当初は、竹が密集して足を踏み入れにくい状況でしたが、今は散策用の道や階段、あずまや、移動式トイレを設置して、鳥のさえずりを聞きながら竹林浴が楽しめる場所になっています。コロナ禍で2年間イベントは中止していますが、竹のすがすがしさを感じてもらえるよう、公園の清掃などを地道に行っています。現在、一緒に活動してくれる会員を募集中です。詳しくは、[■しぶかわNPO・ボランティア支援センター](http://www.shibukawa-npo.jp) (☎02210)へ。

自然のものを相手にするのは、手がかかります。タケノコの出方も毎年違います。公園の竹がだんだん混んできているの



会長
寺島 秀昭さん
(北橋町八崎)

で、間引いて風通しの良い公園にしたいと思っています。整備に必要な竹粉碎机を市が貸し出してくれますが、故障時の迅速な修理の支援をお願いできればありがたいです。